




2024年度 群馬パース大学 第1回公開講座 各講座の詳細 (ぐんま県民カレッジ連携講座)


講演1A 【看護学科】

講座	児童虐待の防止と早期発見—まずは連絡「189(いちはやく)」—	演者のプロフィール
演者	中下 富子(看護学部看護学科 教授) 中村 由美子(天使大学看護栄養学研究科 特任教授)	 https://www.paz.ac.jp/academician/nakashitomiko/
目的	すべての子どもは「児童の権利に関する条約」(国連総会・1994年日本批准)の精神にのっとり、適切な教育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られること等、保障される権利があります。本講座では子どもたちの未来を守るために子どもと家族への支援に着目し、児童虐待の防止と早期発見について概説します。	
概要	子どもの健やかな成長に影響を及ぼす児童虐待の防止と早期発見は社会全体で取り組むべき重要な課題です。児童虐待の実態等から捉えた、子どもと家族への適切な支援についてオレンジリボン運動や、その一環とする児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちはやく)」といった具体的な通告・相談ガイド等を含め紹介し、児童虐待防止への認識や対応を高める契機とします。	


講演1B 【臨床工学科】

講座①	大学で学ぶ医療専門職の紹介 —臨床工学技士について—	演者のプロフィール
演者	島崎 直也(医療技術学部臨床工学科 講師)	 https://www.paz.ac.jp/academician/shimazakinaoya/
目的	臨床工学技士の業務内容、医工学に関する研究について紹介します。	
概要	大学で学ぶことができる医療専門職を紹介します。特に、臨床工学技士が行う実際の業務内容や大学で行うことができる研究テーマなどを紹介します。	
講座②	医療機器における工学の基礎と応用	演者のプロフィール
演者	松岡 雄一郎(医療技術学部臨床工学科 准教授)	 https://www.paz.ac.jp/academician/matsuokayuichiro/
目的	医療機器の性能や安全性向上のために、臨床工学で学ぶ基本的な工学の知識が不可欠であることを学びます。	
概要	医療機器の安全性や機能向上を目指した研究開発の事例を含めて、電気・電子工学や電磁気学などの重要性を解説します。	


講演2A 【理学療法学科】

講座	こどもの発達とあそび	演者のプロフィール
演者	富田 浩(リハビリテーション学部理学療法学科 教授)	 https://www.paz.ac.jp/academician/tomitahiroshi/
目的	子どもの発達支援の基盤となる子どもの発達について知りましょう。	
概要	主に乳児期から学童期の子どもの運動発達とあそびについて概説します。	


講演2B 【放射線学科】

講座	放射線治療ってなにをするの？	演者のプロフィール
演者	岩井 諳憲(医療技術学部放射線学科 准教授)	 https://www.paz.ac.jp/academician/raitsugunori/
目的	がんの放射線治療について理解します。	
概要	二人に一人ががんになり、三人に一人ががんで亡くなるといわれる時代、がんの三大治療法は手術療法、薬物療法(抗がん剤)、放射線治療(放射線療法)となっていますが、放射線治療についてはまだまだ知られていません。放射線治療の特徴、使われ方などを分かりやすく解説します。	


講演3A 【作業療法学科】

講座	科学的に自分を幸せにする方法 ～作業療法は個人の幸せを追求することで持続可能な社会を創る～	演者のプロフィール
演者	村田 和香(リハビリテーション学部長)	 https://www.paz.ac.jp/academician/muratawaka/
目的	作業療法士はどんな時代にあっても、日々の生活を大切に、1人ひとりの人生の質や喜び、楽しさを作り出そうという専門職です。そんな作業療法の哲学と知恵の活かし方について、科学的根拠を基にお話しします。多くの方に作業療法を活用していただきたいです。	
概要	今、子どもも大人もなんだか生きていくのが大変な気がします。頑張っても、頑張っても、なかなか大変なところから抜け出せないような感じです。若者からお年寄りまで、こうして頑張っている社会なのに、幸せな気分になれないのはおかしいこと。抱えている問題や悩みに押しつぶされそうになったり、モヤモヤ感が残ったりしていませんか。幸せを実感でき、遠慮なく幸せについて話すことのできる社会、そんな社会を目指したい、作業療法士のお話です。	


講演3B 【検査技術学科】

講座	生殖補助医療とは？	演者のプロフィール
演者	荒木 泰行(医療技術学部検査技術学科 講師)	 https://www.paz.ac.jp/academician/arakiyasuyuki/
目的	不妊治療における体外受精などの技術について学びましょう。	
概要	少しの不具合で受精が上手くいかず、不妊になることも少なくありません。これらを治療する分野を生殖補助医療といいます。今回は、とりわけ体外受精についての基礎的な知識を紹介します。	

講演4A 【言語聴覚学科】

講座	きこえと補聴器	演者のプロフィール
演者名	岡野 由実(リハビリテーション学部言語聴覚学科 講師)	 https://www.paz.ac.jp/academician/okanoyumi/
目的	加齢性難聴のメカニズムと認知症との関連、補聴器の基本的な理解を促す。	
概要	加齢とともに誰もが聴力低下を引き起こします。75歳以上の男性では4人に1人が補聴器が必要な聴力になると報告されていますが、依然国内の補聴器装着率は17%と諸外国に比較すると圧倒的に低い現状があります。近年、難聴が認知症の危険因子であることが明らかとなり、適切な補聴器装着が推奨されています。補聴器については正しい知識をもって、適切に購入＆使用する必要があります。そのために是非知っておいていただきたい基本的な概要をお話したいと思っています。	

講演4B 【教養部】

講座	児童が野球投球を未長く楽しんでいけるように～児童期は動きの獲得に最も適した時期です～	演者のプロフィール
演者	衣川 隆(教養部 助教)	 https://www.paz.ac.jp/academician/kinugawatakashi/
目的	ボール投げは、能力の格差がつきやすい動作の一つであります。人間の身体諸器官の発達過程を踏まえれば、神経系機能の発達が著しい思春期以前の時期(幼児・児童期)は、動きの獲得やその質の向上に最も適した時期になるため、この時期に多様な動きを経験し、さまざまな基礎的な動きを身につけることは、非常に重要な意味を持ちます。	
概要	投球障害の原因と考えられるものを5つ紹介していきます。それらを鑑み、児童期から生涯にわたり、投球障害を起こさないための機能的な運動連鎖のトレーニングやストレッチングを紹介するとともに、問題点も述べていきます。	